

全国の看護師を応援！

CO-OPナース

医療福祉生協連の看護師求人サイト「CO-OP ナース」に掲載されている病院やそこに勤務する看護師の仕事を紹介します。



前列中央の紺色のユニフォームが大久保さんです

手術への不安に寄り添うこと

長野医療生協 長野中央病院 3階循環器内科・心臓血管外科病棟 大久保舞

当院は、一般病棟・ICU・HCU・回復期リハビリテーション病棟を持つ322床の病院です。うち54床が循環器内科・心臓血管外科病棟で、心不全や心筋梗塞、不整脈、大動脈解離や大動脈瘤などの病気を患った方が入院されています。ほぼ毎日おこなわれている心臓カテーテル検査は、県内トップクラスの件数。命にかかわる病気や病態の方が多く、看護師は常に集い、様々な視点で看護にあたっています。

Aさんは、心臓の冠動脈バイパス手術のため入院されました。当初から明るく、ときには少しふざけながらお話されるので、「手術への不安はあまりなさそう」というのが、第一印象でした。しかし、入院の翌日「手術がうまくいかなくて、一生目が覚めないなんてことは、あまり起きていないんだよね？」と、不安げな表情で語るのを見たとき、Aさんは不安な気持ちを押し殺し、付き添いの奥さんや私に気づかれまいとしていたのだと思いました。その日から、何故どう不安なのか、手術に対して分からないこととはないかなど、たくさんのお話をしました。最

初不安げなAさんでしたが、自然な笑顔を見せてくれるようになりました。

手術は無事終わり、術後も順調にすすみ、予定通りに退院が決まると、「手術日が近づくにつれ、不安が大きくなったけど、看護師さんのみなさんが気にかけてくれたから、本当につれなかった。ありがとうね」といつてくれました。

患者さんは、体の具合が悪い上に、病気は治るのか、一体どんな病気なのか、自分は今後どうなるのかなど、たくさん不安を抱えています。看護師として体のケアをすることは当然ですが、患者さんの様々な思いを真剣に聞いて、寄り添うことがとても大切だと、改めて学びました。忙しいことを理由にせず、これからも患者さん中心の看護をしたいと思えます。



患者さんの不安に耳を傾ける大久保さん

※1.. ならん原因で大動脈の内側の内膜に裂け目ができ、その外側の中膜の中に血液が入り込んで長軸方向に大動脈が裂けることを大動脈解離といいます

※2.. 大動脈の内腔の一部、または複数部位が病的に拡張した状態のことをいいます

※3.. 脚、胸、腕または腰部から健康な血管を、冠動脈の閉塞部分に移植して、血液が心臓に流れるための新しい路(バイパス)をつくる手術のこと

医療福祉生協連の看護師求人サイト

CO-OPナース

<http://nurse-coop.jp/>



北は北海道から南は沖縄まで42都道府県にある、111の医療福祉生協。76の病院、344の診療所、198の訪問看護ステーション、25の老人保健施設を展開し、約1万2000人の看護職員が勤めています(2016年8月末現在)。全国ネットワークを生かした豊富な求人サイトを、完全無料で利用できます。

このサイトに載っていない事業所でも、気軽にお問い合わせください。